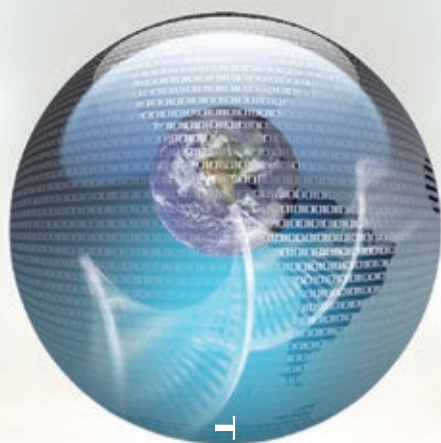


# COMMUNICATION

# NACOS



TECHNOLOGY

NACOS

中西印刷株式会社

# 印刷を基軸に、最先端の情報技術で 文化学術のさらなるステージへ

中西印刷の社是は「印刷を通じた文化学術への貢献」

弊社は老舗印刷会社として、この社是を実現するために挑戦を続けてまいりました。

明治時代木版の会社から金属活字を導入したのがそもそもの始まり。

その後も西夏文字の活字鑄造から言語学書の印刷。

イギリスから鑄造機を輸入しての欧文印刷と数々の挑戦を続け、

コンピュータとの出会いにより新たな学術印刷の地平を切り拓きました。

もはや、中西の未来は紙だけにとどまりません。

広大な学術情報流通の未来にこれからも挑戦を続けてまいります。

# 向かいます。

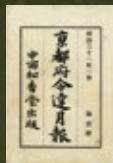


## 歴史 History

### 1865 創業

慶応元年 初代 中西嘉助 書肆めとき屋から分家独立。  
明治3年 京都寺町六角下るに書籍商及び木版印刷の松香堂創業。

木版でできた火鉢、木版から活版へと変わるとき、記念につくられ、長く伝承されてきました。



京都府令違月報  
(明治31年1月)

明治18年 京都府庁の所在地(下立売金座)移転にともない命により、下立売小川の所在地へ転居。事務所及び工場新築。  
昭和28年 中西印刷株式会社に組織変更。主として官庁印刷、出版物印刷を主力に受注し現在に至る。

### 1965 西夏文字

世界のどこにもなかった西夏文字の金属活字。失われた文字を印刷するため中西では母型の製作から行いました。



### 1975 "世界の文字"

活版時代、世界の多くの文字で印刷することは困難を極めました。中西は最高の職人を擁してこうした多言語組版を実現していました。



昭和61年 京都府より「京の老舗」の表彰を受ける。  
電算写植機導入。以後、電算写植の拡充につとめる。

### 1992 活版全廃～電算写植へ

平成4年 活版全廃。電算写植平版専業となる。



電算写植時代

活版印刷で勇名を馳せた中西印刷が全面的に電算に移行し、活版の技と電算の巧が融合しました。この過程は「活字が消えた日」として出版され、広く世間に知られることとなりました。



平成8年 インターネット事業部発足 オンラインジャーナル分野に進出。  
平成11年 英国Oxford University Pressと提携。東京出張所を開設。

### 2000～ 様々なメディアに対応

中西の改革は印刷に電算を応用したことにとどまりません。電子空間そのものへ学術情報を発信していく、インターネット時代に積極的に対応しています。



オンラインジャーナル・電子書籍など新しいメディアに挑戦し続けています。

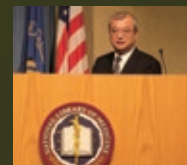
平成15年 アナログ設備全廃。全社フルデジタル体制に移行。  
平成17年 東京事務所開設。

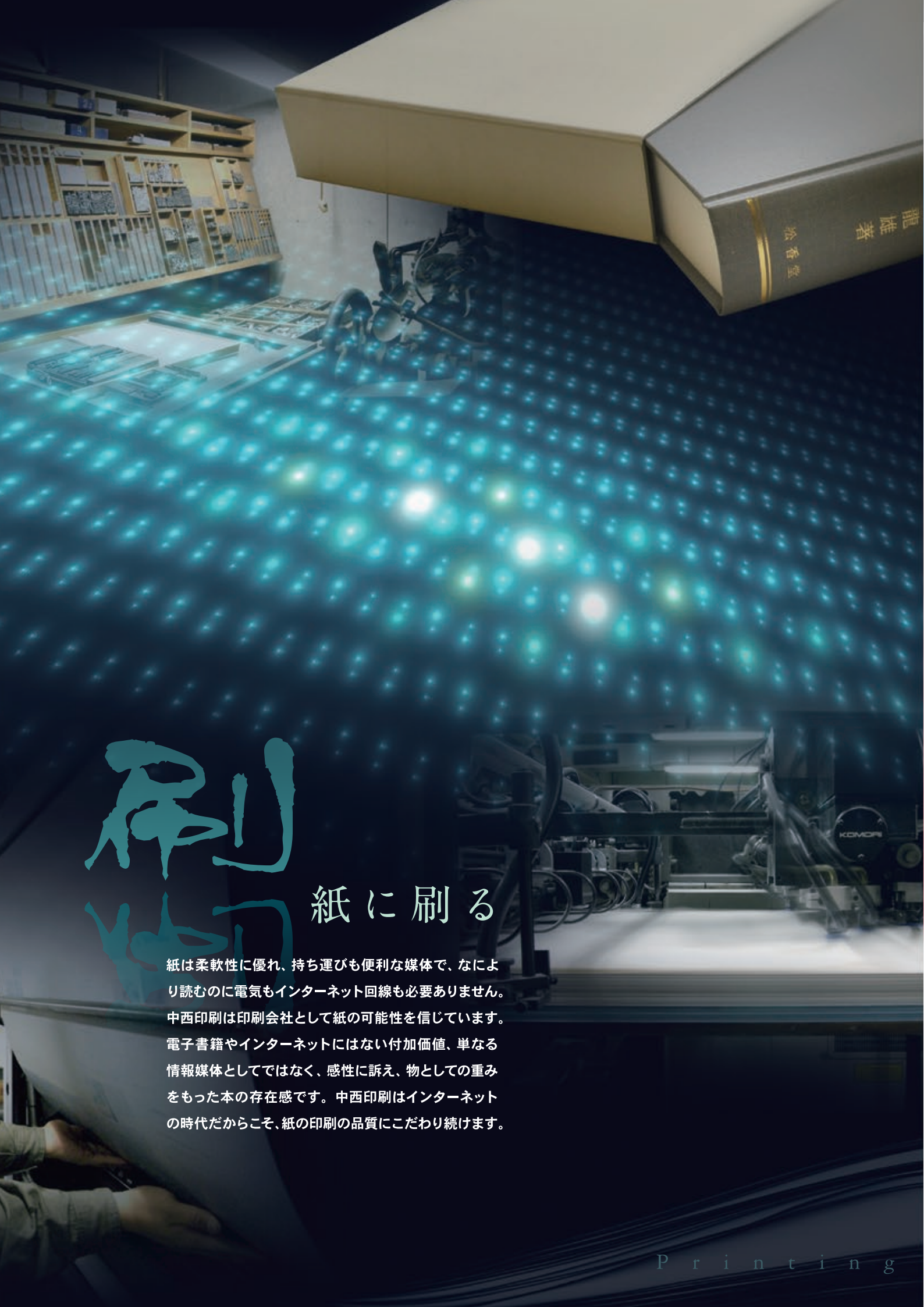
中小企業経営革新支援法にもとづく承認企業となる。  
経済産業省 IT活用型経営革新モデル事業に認定される。

平成24年 世界初の日本語XMLオンラインジャーナルの開発。

平成25年 東京事務所を東京営業所に改組。

平成27年 現社長中西秀彦米国NLMで、日本語オンラインジャーナルについて発表。





# 刷 物

## 紙に刷る

紙は柔軟性に優れ、持ち運びも便利な媒体で、なにより読むのに電気もインターネット回線も必要ありません。中西印刷は印刷会社として紙の可能性を信じています。電子書籍やインターネットにはない付加価値、単なる情報媒体としてではなく、感性に訴え、物としての重みをもった本の存在感です。中西印刷はインターネットの時代だからこそ、紙の印刷の品質にこだわり続けます。



## 状況やニーズへの高い対応力

紙への印刷の意味は大きくかわっています。大量に高速にという時代から、少数でも美しく、未来に残る印刷が求められています。中西ではオフセット印刷とオンデマンド印刷という技法を駆使してこの要望にお応えします。

### ● オフセット印刷

現在主流の印刷技法です。中西印刷では一貫生産体制にこだわり、組版から、製版、印刷まで自社でおこなっています。最先端のデジタル機器と職人の技が、美しい印刷を支え続けます。



コンピュータで作られた印刷データはレーザーで版に焼き付けられます。



### ● デジタル印刷\*

印刷そのものにデジタル技法を応用しました。印刷データを直接機械におくりこむだけで、高精細な印刷が可能です。特に少数カラー印刷に威力を発揮します。

\*このパンフレットはデジタル印刷で作製しています。

Fuji Xerox Color 1000i Press



## 歴史に培われた書籍づくりのノウハウ

インターネット時代の本は情報を伝える以上の価値がなくてはなりません。中西印刷は100年1000年単位で残る本作りを指向してきました。そのノウハウは他社の追随を許しません。堅牢かつ美的にすぐれた製本。それは中西の原点でもあります。



明治の昔から本を作ってきた中西のDNAは現在に受け継がれています。



緻密な編集作業も書籍の品質を大きく左右します。



# 創

## 時代を読む

中西は印刷のさらに先を見つめています。「文化学術への貢献」のためには、何をなすべきかを自らに問うてきました。出た結論は、印刷をより広い意味で捉えることです。紙だけでなく画面も印刷の延長上にある。学術印刷を長く取り扱ってきた中西だからこそ、新たなメディアにもそのノウハウを投入することができるのです。オンラインジャーナルから電子抄録へ必要とされる技ならなにもかも吸収して、お客様に最善の情報発信方法でお届けします。



## 人材 情報社会の未来を支える精鋭人

未来は人が切り拓きます。中西には最高の職人と共に、情報社会の未来を支える頭脳が揃っています。博士1人、修士8人(2018年10月現在)という中小企業にはまれな高学歴の人材が在籍しています。もちろん、学歴と実績は必ずしも一致するものではなく、これは一面にすぎません。中西が文化学術の発展のために如何に寄与できるか、社員全体が一体となって研鑽をつみ、高度な情報処理力をもった人材群となっているのです。



オンライン情報管理システム einar



学術出版の技術変遷論考 (印刷学会出版部) 社長の著作です。



学術大会ホームページ



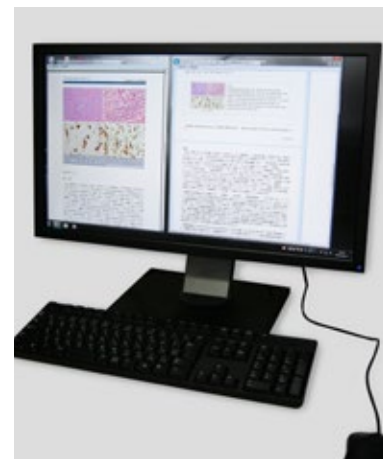
電子大会抄録集

EPUB版



## IT ITの先端を担い最善の技術力を構築

IT(Information Technology)の時代、情報に関する諸技術を極めなければ時代のニーズに応える事はできません。それは文化学術の世界においても同じこと。中西印刷では早くから培ってきたコンピュータプログラミングや言語処理技術の究極としての学術XML技術を日本最先端の位置にまで高めています。中西発の規格が世界標準となるなど、常に学術印刷の世界をリードし続けています。これからも中西のITに対する取り組みが終わることはありません。



### ● 冊子工房

インターネットサイトを通じて印刷の受付を行っています。



URL <http://the.nacos.com/koubou/>

### ● オンラインジャーナル

学術流通の最先端オンラインジャーナル。中西印刷は常に日本の最先端を走り続けています。

# 最先端の情報技術で あらゆるご要望に お応えします。

先生は、研究と教育にどうぞご専念ください

中西印刷には今3つの柱があります。「印刷」「学会サポート」「IT」です。「印刷」は紙を中心とした情報発信、「学会サポート」は学術の基礎を支える学会事務受託や編集査読、そして「IT」は情報処理技術です。日本にはそれぞれの分野で優れている会社は多いのですが、この3つを兼ね備えた会社は中西だけでしょう。この3つを兼ね備えることで、その間にある領域が可能になりました。たとえば学会サポートとITの間には「オンライン会員管理システム」が、学会サポートと印刷の間には「編集査読」受託業務がはあります。そしてすべての真ん中に中西印刷の卓越したXML技術があります。

Printing  
オンデマンド印刷

オフセット印刷

印刷


学術誌印刷  
(編集査読)

S e r v i c e  
C o n t e n t s

業務コンテンツ

冊子工房

インターネットで印刷業務の受付をおこなう中西印刷の新ブランドです。こだわりの中西印刷がこだわりの印刷通販を行います。通常の印刷通販とはひとあじもふたあじも違う、質にこだわった印刷通販です。学術論文から句集・歌集まで幅広く受け付けております。

 冊子工房

松香堂



中西印刷の古い屋号である「松香堂」は現在出版部ブランドとなっています。学術書の出版を中心に、ISBNを付与した本格的な出版が可能。言語学・文化人類学領域では特に高い評価をいただいております。出版から文化学術への貢献をお手伝いします。

to the Future ... >

Information Technology

IT

電子書籍  
冊子工房  
(オンライン通販)

XML

オンライン  
管理システム

学会  
サポート

Support

Nakanishi Three Solutions

### 電子書籍

学術情報流通は紙から電子の世界へと移行しつつありますが、その最先端にあるのが電子書籍です。電子の読書にふさわしい専用端末の電子書籍ができることで読書の概念が一新されました。中西では学術分野で特に有効と考えられる電子抄録集を中心に電子書籍事業にも進出しています。



### XMLオンラインジャーナル

オンラインジャーナルがPDFからXMLの時代になろうとしています。PDFは紙の誌面を電子画面でも読めるようにしてただけでしたが、XMLは画面での読みやすさをまず追求しています。もちろん読みやすさだけでなくXMLは電子ならではの機能を付加することも可能。もうオンラインジャーナルは紙の雑誌のエピゴーネンの存在から、まったくあたらしい学術情報媒体として生まれかわりました。中西は日本初の和文XMLオンラインジャーナル(「消化器外科学会雑誌」2012年7月)をてがけるなど、常にこの世界の先頭を走ってきました。

J-STAGE PMC

### 学会・大会業務

研究の要としての学会の存在は文化学術にとって非常に重要です。しかしその運営は事務作業の連続。会員管理から経理、税務、労務など学術を担われる先生方にとってご負担になりがちでした。中西は先生方は「研究と教育に専念」していただきたいと、学会事務受託業務をおこなっております。



学会事務



大会事務



編集査読

### 編集・査読

単に論文を集めただけでは学術雑誌や学術書は発行できません。そこには編集や校正作業が必要ですし、掲載するのにふさわしいかどうかを検討する査読過程も欠かせません。しかしその事務手間も先生方へのご負担となりがち。中西では「文化学術への貢献」のためにこうした業務も一括してお受けしております。



代表取締役社長  
中西 秀彦

## 文化学術都市京都から世界に向けて

明治の昔、京都の地で発足した中西印刷。

しかし、今、その活動は京都にとどまらなくなっています

幸い、インターネット技術はグローバルな活動をぐっと身近にしました

1999年英国Oxford University Pressとの提携もその一環でした。

でもネットだけではやはり本当の意図は伝わりません

学術の中心はやはり東京。今、中西印刷はあらたに東京に営業部をかまえました

東京をはじめ関東一円、そして全国・世界へと

中西は「文化学術」のある限りどこへでもでかけていきます

### 東京営業部

中西印刷では東京方面の需要におこたえするため東京営業部を設置しています。場所は東京都文京区本郷二丁目。東京大学のすぐ近くです。学会事務の拠点となるとともに、東京「営業部」として、関東のお客様の要望にお応えいたします。中西印刷は京都の会社、それはもう昔のことです。会議スペースを設けておりますので、学会様のちょっとした会議などにご使用いただくことが可能です。遠慮なく、当社東京営業部スタッフにお申し付けください。





中西印刷は学術印刷を通して  
情報技術の未来を見つめつづけます。

### 会社概要

資本金	40,000,000円
従業員	85名
本社敷地面積	1,000㎡
本社延床面積	1,600㎡ (鉄筋コンクリート造り4階建)
主要設備	サーバー 7台 パソコン 100台 CTP装置 1台 平版印刷機 2台 オンデマンド印刷機 3台 他付属設備一式
決算期	9月
取引銀行	京都銀行府庁前支店 みずほ銀行京都中央支店 三井住友銀行京都支店 三菱UFJ銀行出町支店



## 中西印刷株式会社

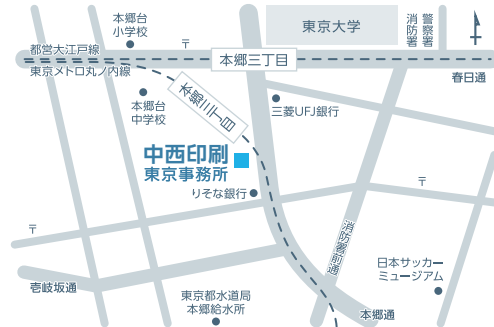
### 京都本社

〒602-8048  
京都府京都市上京区下立売小川東入ル西大路町146番地  
T E L | 075-441-3155(代)  
F A X | 075-417-2050(営業)



### 東京事務所

〒113-0033  
東京都文京区本郷2丁目27番地16 大学通信教育ビル5階  
T E L | 03-3816-0738(代)  
F A X | 03-3816-0766(営業)



● E-mail [infos@nacos.com](mailto:infos@nacos.com) ● URL <https://the.nacos.com> ●

### CSRへの取り組み



プライバシーマーク認証取得  
JIS Q15001:2006準拠  
個人情報保護に関する認証



環境保護印刷  
クリオネマーク認証取得



京都府  
京の子育て応援企業指定  
京都市  
男女共同参画推進宣言登録事業者